

# 令和元年度採材現地検討会

日 時：令和元年 7 月 12 日（金曜日）

場 所：岩手南部森林管理署遠野支署管内

遠野市附馬牛町中滝山国有林 78 林班ろ 1 小班外 7（素材生産請負事業実行現場）

参加者：県、市町、製材・造材・検知関係事業者、森林組合、森林管理署等（34 団体、総勢

約 110 名）（岩手南部森林管理署と合同開催）

## 主な実施内容

- 岩手南部森林管理署及び遠野支署の立木及び素材の販売予定について
- 県内の木材市況及び動向について（岩手県森林組合連合会 工藤様）
- 採材に当たっての留意事項（東北森林管理局資源活用課）
- 若手署員による採材方法の検討・実演
- 講評（東北森林管理局資源活用課、岩手県森林組合連合会）

令和元年度採材現地検討会は、関係機関や請負事業者などから、約 110 名が参加しました。

森林管理局からは、スギとカラマツについては 4m、広葉樹については 2.2m での採材を基本とすることが示され、そのことを踏まえて、両署の若手署員が 2 チームに分かれ、針葉樹（スギ、カラマツ）と広葉樹（クリ）計 3 本をどのように採材するかを検討しました。

採材方法を決定後、実際に玉切りし、矢高を図るなどして全体で検討を行いました。

採材については両チームで考え方が異なり、様々な考え方があることを知るとともに、その中でも留意すべき点等を御指導いただくことで参加者の共通認識が形成されたように思います。

## 開催の様子

